

表 2022年のアフリカにおける主な選挙一覧

実施日	国名	選挙	詳細
4月9日	ガンビア	議会選	<ul style="list-style-type: none"> ・バロウ大統領率いるNPPが18議席(58議席中)を獲得するなど29.19%の得票。最大野党のUDPは16議席を失い、15議席に留まる(得票率28.04%)。 ・バロウ大統領は2021年に大統領就任も、2022年12月にクーデター未遂事件発生。ジャマ前政権の関与が指摘されている。
5月15日	ソマリア	大統領選	<ul style="list-style-type: none"> ・決選投票でハッサン氏が過半数215票を獲得、現職ファルマージョ氏に勝利。 ・ファルマージョ大統領が2021年2月に任期満了を迎えていたが、選挙が先送りされていた。IMFによる支援プログラムの見直し日である5月17日までに大統領が決まらない場合、同支援は終了する予定だった。
7月10日	コンゴ共和国	議会選	<ul style="list-style-type: none"> ・ドニ・サス・ンゲソ大統領率いる与党PCTが第1ラウンドで103議席、第2ラウンドで9議席、計112議席(151議席中)を獲得。 ・野党や市民社会グループは与党側の不正を主張。
7月31日	セネガル	議会選	<ul style="list-style-type: none"> ・サル大統領率いる与党連合BBYは82議席(165議席中)と125席から大幅に議席数を減らし、過半数に届かず。一方、野党連合YAW-Walluが80議席を獲得。 ・最終的には、1議席を獲得していた1議席を獲得していた少数政党のジョップ氏がBBY陣営に付き同党が過半数獲得。
8月9日	ケニア	総選挙	<ul style="list-style-type: none"> ・ルト副大統領(当時、得票率50.49%)が、ケニヤッタ大統領(当時)が支持するオディンガ元首相(得票率48.85%)を破り大統領に当選。 ・集計結果を巡っては、オディンガ氏が異議申し立てを行ったほか、選挙管理委員会の中でも内紛が発生するも、最終的には最高裁が結果を支持。
8月24日	アンゴラ	総選挙	<ul style="list-style-type: none"> ・与党MPLA(得票率51.17%)が最大野党UNITA(得票率43.95%)を下し、党首のロウレンソ大統領が2期目となる再任。 ・MPLAは勝利したものの、前回から26議席を失ったほか、UNITAが39議席伸ばすなど、野党勢力が台頭。高い失業率など国民の不満が顕在化。
10月7日	レソト	議会選	<ul style="list-style-type: none"> ・新政党RFPが56議席(120議席中)を獲得し、前与党ABC(8議席)などを上回り勝利。過半数獲得のためにAD(5議席)とMEC(4議席)と連立。 ・勝利したRFPの創設者で党首のマテカネ氏が新首相に就任。過去10年で5年の任期を全うした首相がいない中で政情安定化を図る。
11月20日	赤道ギニア	総選挙	<ul style="list-style-type: none"> ・現職ンゲマ大統領が得票率94.9%で6期目となる当選。44年目を迎える。 ・議会選では、同大統領率いるPDGEを中心とする与党連合が、下院100議席と上院70議席の全ての議席を獲得。
12月17日	チュニジア	議会選1次投票	<ul style="list-style-type: none"> ・投票率は11.22%と2011年革命後の最低記録。サイド大統領への権力集中や経済状況の悪化など、選挙への関心が極めて低いとの報道。投票終了後、野党は直ちにサイド大統領を強く非難し、辞任を要求。 ・今後、二次選挙を経て、2023年3月3日に最終結果が発表される見込み。
12月19日	南アフリカ共和国	与党ANC党首選	<ul style="list-style-type: none"> ・過半数2,476票を獲得した現大統領ラマポーザ氏が再選。自身の汚職疑惑によって党内でも退陣要求が出るなど進退が注目されている中での当選。 ・2024年総選挙でANCが勝利すれば、ラマポーザ大統領は2期目を迎える。

(出所)ジェトロ作成